医療的ケア　第　　回

実際の.救急蘇生の流れ

ガイドライン2010における迅速な一次救命処置

1　（3　反応　）なし

（　4　大声　）で応援を呼ぶ

緊急通報・（5　除細動器　）を依頼

2（6　呼吸）をみる

※

正常な呼吸あり

（7　気道確保　）

応援，ALS チームを待つ

（8　回復体位　）を考慮する

※（7　気道確保　）して呼吸の観察を行う

呼吸と同時に頸動脈の脈拍を確認してもよし

3　（6　呼吸　）なし※※

※※死戦期呼吸は心停止として扱う

「呼吸なし」でも脈拍がある場合は（7　気道確保　）

および（9　人工呼吸　）を行い，ALS チームを待つ

4（10　心肺蘇生法　）CPR

・ただちに，（11　胸骨圧迫　）を開始する
・強く（成人は少なくとも（12　5　）cm，小児は胸の厚さの約（13　1／3　））
・速く（少なくとも（14　100　）回／分）
・絶え間なく（中断を最小にする）
・（15　30:2　）で胸骨圧迫に人工呼吸を加える
・（9　人工呼吸　）ができない状況では
（11　胸骨圧迫　）のみを行う

5　（5　除細動器（AED）　）装着

6（16　心電図　）解析・評価

電気ショックは必要か？

必要あり

7　ショック1回
ショック後ただちに，
（11　胸骨圧迫　）から CPR を再開
（17　2　）分間※※※

必要なし

8　ただちに
（11　胸骨圧迫　）
から CPR を再開
（17　2　）分間
※※※

※※※

強く，速く，絶え間ない

（11　胸骨圧迫　）を！

ALS チームに引き継ぐまで，あるいは患者に正常な呼吸や目的のあるしぐさが認められるまで CPR を続ける。